一般財団法人　日本環境衛生センター
JESC-INFO
No.20210317
2021.3
JESC-INFO（ジェスクインフォ）は、日本環境衛生センターの活動について、最新のトピックスやイベント情報等を随時紹介します

ホットトピックス

■「穂高クリーンセンターごみ処理施設」及び「十和田下水一次処理センター」が完成しました。ー日本環境衛生センターが施工監理ー

○穂高クリーンセンターごみ処理施設

穂高広域施設組合（長野県）のごみ処理施設「穂高クリーンセンターごみ処理施設」が2月に完成しました。この施設は、処理能力120t/日（60t/24h×2炉）のストーカ式焼却炉を採用し、燃焼効率を上げる最新の技術を用いたごみ処理施設です。また余熱利用施設への従来の熱供給に加え、発電効率の高い発電設備も新たに設置されました。

当センターは平成26年度から建設に係る技術支援を開始し、平成30年度から3年間はごみ処理施設建設に係る施工監理業務を行ったことから、落成式にて感謝状を贈呈されました。

感謝状を贈呈された当センターの坂川専務理事（左）

【施設概要】
施設名称：穂高クリーンセンターごみ処理施設
事業方式：DBO方式（Design-Build-Operate）
施設規模：ごみ焼却施設 120t/日（60t/24h×2炉）
蒸気タービン発電機 3,000kW
不燃物処理施設 3t/日

○十和田下水一次処理センター

十和田地区環境整備事務組合（青森県）のし尿処理施設「十和田下水一次処理センター」が４月より稼働することになりました。搬入されたし尿と浄化槽汚泥を前処理後、下水処理場に投入する施設です。当センターは施設建設工事の設計・施工監理業務を行いました。

■一般廃棄物処理の脱炭素化に向けて-廃棄物エネルギー利活用等説明会の開催-

当センター伊藤資源循環低炭素化部長による説明の様子

環境省主催の「令和2年度一般廃棄物処理の脱炭素化に向けた廃棄物エネルギー利活用等に関する説明会」が 2月19日（金） に開催されました。当センターは受託実施機関を務めました。

この説明会では、環境省の名倉廃棄物適正処理推進課長から国の廃棄物処理行政の動向について、早稲田大学の小野田教授から廃棄物エネルギーの利活用推進の意義について講演の後、廃棄物エネルギー利活用計画策定指針を中心に、一般廃棄物処理の脱炭素化に向けた環境省各種マニュアル等の内容や、廃棄物エネルギーの利活用に係る各地域の先進的な取組事例などが紹介され、391名（オンライン参加373名含む）の方にご参加いただきました。

SDGsへの取組

循環型社会の構築に向けた技術支援

当センターでは、SDGｓ（持続可能な開発目標）の一つである「9.産業と技術革新の基盤をつくろう」を踏まえ、循環型社会の構築に向けた技術支援をしています。技術支援の詳細については、以下のURL等からご確認ください。

【技術支援】https://www.jesc.or.jp/activity/tabid/84/Default.aspx

9 産業と技術革新の基盤をつくろう

本内容に関する問い合わせ先：一般財団法人 日本環境衛生センター　管理部企画広報課
TEL：044-288-5095, FAX：044-299-2294, Email： koho@jesc.or.jp

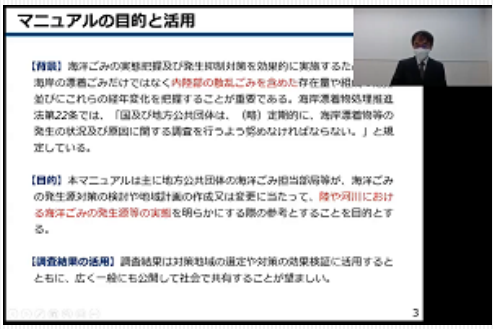
一般財団法人　日本環境衛生センター
JESC-INFO
No.20210317
2021.3
JESC-INFO（ジェスクインフォ）は、日本環境衛生センターの活動について、最新のトピックスやイベント情報等を随時紹介します

ホットトピックス

■海洋ごみ対策ガイドライン説明会の開催

環境省主催の「海洋ごみ対策ガイドライン説明会」が2月25日（木）にオンラインで開催されました。当センターは事務局を務めました。

この説明会では、国内における海洋ごみ対策の一層の推進を図ることを目的として作成されている「海洋ごみ対策ガイドライン（仮称）」の趣旨や基本的な考え方などが説明され、145の地方自治体からご参加いただきました。



当センター吉村環境調査課長による説明の様子

当日は環境省の山下海洋環境室長より挨拶後、環境省海洋環境室の米野主査より「海岸漂着物処理推進法に基づく地域計画作成のための手引き」、当センター吉村環境調査課長より「散乱ごみ実態把握調査マニュアル」、当センター庄司技師より「海洋ごみ発生抑制対策等事例集」について説明がありました。

■ヒアリ等の外来アリ類の早期発見・防除に関する人材育成の取組

ヒアリ（働きアリ体長：2.5～6㎜）

○「令和２年度ヒアリ講習会」の開催

環境省主催の「令和2年度ヒアリ講習会」がオンラインで開催されました。当センターは事務局を務めました。

強い毒を持ち、特定外来生物に指定されているヒアリについて、ヒアリの侵入・定着防止のためには様々な関係者が早期発見・早期防除が重要です。

本講習会では、ライブ形式と動画配信の２通りのオンライン講習会を実施。「ヒアリの初確認から現在までの状況」について環境省より講演後、各方面の先生方よりヒアリの脅威や対策、ヒアリの生態や同定法等について動画配信及び説明がありました。また当センター環境生物・住環境部の武藤技術審議役から「ヒアリ同定マニュアル」及び「ヒアリ防除の考え方」について説明がありました。

○「外来性アリ同定研修会」の開催

日本ペストコントロール協会と当センターが共催の「外来性アリ同定研修会」が3月11日（木）に当センターで開催されました。

この研修会では、「外来性アリに対する行政のスタンス」について環境省の深谷外来生物対策室長補佐より講演後、「アリ概論」、「侵略的外来アリの見分け方」について東京都立大学大学院理学研究科の寺山客員研究員より講演がありました。その後、ヒアリを含む外来性アリの標本を顕微鏡下で観察しながら、アリの同定方法を説明しました。

当センターホールでの研修会の様子

ヒアリを含む害虫等の詳細については、以下のURL等からご確認ください。

【人の生命や身体に被害を及ぼす虫たち】
https://www.jesc.or.jp/library/tabid/359/Default.aspx

本内容に関する問い合わせ先：　一般財団法人 日本環境衛生センター　管理部企画広報課
TEL: 044-288-5095, FAX: 044-299-2294, Email: koho@jesc.or.jp